

2020年3月3日

各 位

東京都港区六本木六丁目8番10号
会社名 株式会社モブキャストホールディングス
代表者名 代表取締役社長 藪 考 樹
(コード番号：3664 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 佐武 利治
(TEL.03 - 5414 - 6830)

(訂正)「営業外費用、特別利益、特別損失及び法人税等調整額の計上(連結決算)及び特別損失の計上(個別決算)並びに通期業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」の一部訂正について

本日開示いたしました「(訂正・数値データ訂正)「2019年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ」にて記載しているとおり、2019年12月期決算短信に訂正箇所があったことに伴い、2020年2月13日に開示いたしました「営業外費用、特別利益、特別損失及び法人税等調整額の計上(連結決算)及び特別損失の計上(個別決算)並びに通期業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」を、一部訂正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

1. 訂正の理由

訂正の理由については本日同時に開示している「(訂正・数値データ訂正)「2019年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正の内容

I. 営業外費用及び特別利益の計上について（連結決算）の訂正内容

（訂正前）

1. 営業外費用及び特別利益の計上について（連結決算）

4) 法人税等調整額

当社は、主要な連結子会社において税務上の欠損金を認識したこと等に伴い繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、法人税等調整額として 239,527 千円を計上いたしました。

（訂正後）

1. 営業外費用及び特別利益の計上について（連結決算）

4) 法人税等調整額

当社は、主要な連結子会社において税務上の欠損金を認識したこと等に伴い繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、法人税等調整額として 238,116 千円を計上いたしました。

II. 特別損失の計上について（個別決算）の訂正内容

（訂正前）

2. 特別損失の計上について（個別決算）

1) 関係会社事業損失

当社グループの関係会社株式の評価見直しを行ったことにより、関係会社事業損失として 1,321,851 千円を計上いたしました。なお、当該金額には、2019年7月10日に「連結子会社に対する債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）及び個別決算における特別損失（関係会社事業損失）計上に関するお知らせ」にて開示した「4. 個別決算における特別損失（関係会社事業損失）の計上について」にて記載している 410,000 千円も含まれております。

なお、関係会社事業損失（個別）につきましては、連結決算では相殺消去されております。

（訂正後）

2. 特別損失の計上について（個別決算）

1) 関係会社事業損失

当社グループの関係会社株式の評価見直しを行ったことにより、関係会社事業損失として 1,284,536 千円を計上いたしました。なお、当該金額には、2019年7月10日に「連結子会社に対する債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）及び個別決算における特別損失（関係会社事業損失）計上に関するお知らせ」にて開示した「4. 個別決算における特別

損失（関係会社事業損失）の計上について」にて記載している 410,000 千円も含まれております。

なお、関係会社事業損失（個別）につきましては、連結決算では相殺消去されております。

Ⅲ. 当期実績と前期実績との差異の訂正内容

（訂正前）

3. 当期実績と前期実績との差異

1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 7,245	百万円 ▲536	百万円 ▲630	百万円 ▲1,221	円 銭 ▲69.83
当期実績 (B)	<u>6,700</u>	<u>▲998</u>	<u>▲1,180</u>	<u>▲1,411</u>	<u>▲68.80</u>
増減額 (B-A)	<u>▲545</u>	<u>▲462</u>	<u>▲550</u>	<u>▲190</u>	<u>1.03</u>
増減率 (%)	<u>▲7.5</u>	—	—	—	—

2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 1,985	百万円 114	百万円 72	百万円 ▲702	円 銭 ▲40.13
当期実績 (B)	351	▲96	▲113	<u>▲1,436</u>	▲70.04
増減額 (B-A)	▲1,634	▲210	▲185	<u>▲734</u>	▲29.91
増減率 (%)	▲82.3	—	—	—	—

（訂正後）

3. 当期実績と前期実績との差異

1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 7,245	百万円 ▲536	百万円 ▲630	百万円 ▲1,221	円 銭 ▲69.83

当期実績 (B)	<u>6,681</u>	<u>▲1,016</u>	<u>▲1,199</u>	<u>▲1,428</u>	<u>▲69.66</u>
増減額 (B-A)	<u>▲564</u>	<u>▲480</u>	<u>▲569</u>	<u>▲207</u>	<u>0.17</u>
増減率 (%)	<u>▲7.8</u>	—	—	—	—

2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	1,985	114	72	▲702	▲40.13
当期実績 (B)	351	▲96	▲113	<u>▲1,399</u>	<u>▲68.22</u>
増減額 (B-A)	<u>▲1,634</u>	<u>▲210</u>	<u>▲185</u>	<u>▲697</u>	<u>▲28.09</u>
増減率 (%)	<u>▲82.3</u>	—	—	—	—

IV. 差異の理由 (連結及び個別)

(訂正前)

3) 差異の理由 (連結及び個別)

(連結)

2019年12月期の連結累計期間においては、新規に株式を取得し連結子会社となった株式会社ゆとりの空間及び株式会社ゲームゲートの2社が売上、営業利益とともに寄与しました。

その一方で、既存のモバイルゲーム事業を営むモブキャストゲームスの新規配信タイトルの売上が想定に達しなかったことから、連結売上高は 6,700,591 千円 (前連結会計年度は売上高 7,245,582 千円) となりました。

連結営業利益につきましては、グループ全体としてのコストは昨年とほぼ横ばいだったものの、2019年12月期の主力事業であるモバイルゲーム事業、モータースポーツ事業それぞれが営業損失を計上し、親会社である当社の費用を賄うことができず営業損失は 998,519 千円 (前連結会計年度は営業損失 536,079 千円) となりました。

また、上記「1. 営業外費用及び特別利益の計上について (連結決算)」で記載したとおり、持分法による投資損失、持分法変動益、減損損失、及び法人税等調整額を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は 1,411,011 千円 (前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失 1,211,767 千円) となりました。

(個別)

個別決算においては、2018年に計上していたゲーム売上が、2018年4月の持株会社体制移行に伴うモブキャストゲームスへのゲーム事業移管に伴い計上されなくなったことから、売上高は351,249千円(前事業年度は売上高1,985,916千円)となりました。また、営業利益につきましては、前段記載のとおりゲーム事業の移管に伴う益の減少及び子会社等からの収益が想定に達しなかったこと等により96,332千円の営業損失(前事業年度は営業利益114,020千円)となりました。また、営業外費用として新株予約権発行費6,766千円等により経常損失は113,493千円(前事業年度は経常利益72,950千円)、また、上記「2. 特別損失の計上について(個別決算)」記載の関係会社事業損失887,083千円を計上した結果、当期純損失は1,436,455千円(前事業年度は当期純損失702,129千円)となりました。

(訂正後)

3) 差異の理由(連結及び個別)

(連結)

2019年12月期の連結累計期間においては、新規に株式を取得し連結子会社となった株式会社ゆとりの空間及び株式会社ゲームゲートの2社が売上、営業利益とともに寄与しました。

その一方で、既存のモバイルゲーム事業を営むモブキャストゲームスの新規配信タイトルの売上が想定に達しなかったことから、連結売上高は6,681,631千円(前連結会計年度は売上高7,245,582千円)となりました。

連結営業利益につきましては、グループ全体としてのコストは昨年とほぼ横ばいだったものの、2019年12月期の主力事業であるモバイルゲーム事業、モータースポーツ事業それぞれが営業損失を計上し、親会社である当社の費用を賄うことができず営業損失は1,016,735千円(前連結会計年度は営業損失536,079千円)となりました。

また、上記「1. 営業外費用及び特別利益の計上について(連結決算)」で記載したとおり、持分法による投資損失、持分法変動益、減損損失、及び法人税等調整額を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は1,428,694千円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失1,211,767千円)となりました。

(個別)

個別決算においては、2018年に計上していたゲーム売上が、2018年4月の持株会社体制移行に伴うモブキャストゲームスへのゲーム事業移管に伴い計上されなくなったことから、売上高は351,249千円(前事業年度は売上高1,985,916千円)となりました。また、営業利益につきましては、前段記載のとおりゲーム事業の移管に伴う益の減少及び子会社等からの収益が想定に達しなかったこと等により96,332千円の営業損失(前事業年度は営業利益114,020千円)となりました。また、営業外費用として新株予約権発行費6,766千円等により経常損失は113,493千円(前事業年度は経常利益72,950千円)、また、上記「2.

特別損失の計上について（個別決算）記載の関係会社事業損失 1,284,536 千円を計上した結果、当期純損失は 1,399,140 千円（前事業年度は当期純損失 702,129 千円）となりました。

以上